

ともに先へ、先へ。

民主党 参議院比例区第65総支部総支部長

参議院議員 えさきたかし



この「えさきたかしの「がんばるバイ」」は、僕の国会活動、おもしろい話やえっと思ったことなどを気ままに綴って、各県本部へ月1回程度のペースで配信します。どうぞご活用ください。

えさきたかしの「がんばるバイ」No3

国会の有り様を憂う

皆さんいかがお過ごしですか。あっと言う間に今年も師走になりました。昨年のは、師走とか思う暇もなく全国行脚の旅を続けていました。たった1年でこんなに取り巻く環境が変わったのも初めての経験です。今更ながらに驚いています。さて、国会周辺の銀杏並木は紅葉の盛りを迎え、季節の移り変わりの素晴らしさを感じさせてくれます。



ところが、国会の中に入ると・・・。臨時国会も予定通り12月3日で終了しそうですが、政治改革主導法案、郵政改革法案など重要法案がほとんど審議されずじまいです。26日の参議院本会議では2大臣の問責決議案の成立の渦中にいました。もちろん初めての経験ですが、国会がこんなんで良いのかとあらためて痛感した一日でした。問責決議案可決の詳細は私の拙ブログ「トンカジョンの議員日記」に書きましたが、決議に賛成の立場、反対の立場で双方が討論を行いました。ヤジと怒号で演説者の声が聞き取れないこともしばしばです。

この国会中、私は予算委員会、決算委員会、内閣委員会、厚生労働委員会、総務委員会に参加しました。自民党とみんなの党はそこでの質問時間のほとんどを、尖閣諸島での船長逮捕・釈放、ビデオの提出と流出、自衛隊の催し物で民主党を批判した民間人（といってもこれまで自衛隊と関係の大きい団体）に対する政府の対応批判、柳田法務大臣発言、官房長官の自衛隊は暴力装置発言・・・などに対する批判と責任追及に終始しました。政策に対する質問や意見の応酬はほとんど無かったといっても過言ではありません。確かに我が民主党の対応も褒められたものではありませんが、総理や閣僚への尊敬の念のかけらもない発言には辟易どころか情けなくなるのでした。

55年体制下ではどんなに野党が抵抗しようが、数の力で勝る与党の考え中心に動いてきました。ある意味では政権は安定していたといえます。しかし、民主党が力を付けはじめ、2007年選挙で参議院で勢力が逆転し、「ねじれ」が起きると、全く違った政治バランスの中での国会運営となります。すべてが決まらない。すべてが政局につながり、結果、安倍、福田と次々と政権を放りだしました。そしてついに昨夏、民主党政権が誕生しますが、その鳩山政権もわずか10ヶ月で終焉です。最近、イギリスから帰国されていた方と話をする機会がありました。その方は「日本の国会中継は見るに耐えない」と嘆いていました。イギリスの国会論争は聞いていてためになるほど、政策論争であるそうです。それを見ながら有権者が投票先を決めるのでしょうか。

日本の国会は今初めて二大政党の双方が与党と野党を経験していることを考えれば、現状は無理からぬことかもしれません。このままでは来年の通常国会もまともな議論にならないでしょう。きっと国民から批判を受けることとなります。しかし、そうやって政党政治の先輩、イギリスの国会のようになっていくのかもしれない。そうだとすると国会議員である私たちの日々の更なる努力が必要なのは言うまでもありません。まだまだ新米の私ですが、がんばります。

すべての仲間の皆さんが良い年を迎えられることを祈って。

参議院議員 江崎孝

2010年12月1日 えさきたかしの「がんばるバイ」No3